

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/4)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	ヒラ 平	オカ 岡	サトシ 聡
学歴	昭和58年 3月 佛教大学文学部仏教学科 卒業 昭和60年 3月 佛教大学大学院文学研究科 (修士課程) 仏教学専攻 修了 昭和63年 3月 佛教大学大学院文学研究科 (博士課程) 仏教学専攻 単位取得満期退学						
学位	昭和60年 3月 文学修士 (佛教大学) 平成14年 1月 文学博士 (佛教大学 乙第35号)						
専門分野	仏教学 (インド仏教)						
専門資格	浄土宗教師						
所属学会	昭和60年 6月 日本印度学仏教学会 昭和62年 5月 日本宗教学会 日本仏教学会 北海道印度哲学仏教学会 佛教大学仏教学会 日本仏教教育学会 浄土宗教学院 American Academy of Religion						
受賞	平成12年 9月 第42回日本印度学仏教学会賞 平成15年 6月 平成15年度浄土宗学術賞 平成25年10月 第12回坂本日深学術賞						
担当 授業科目	学 部 京都文教入門、仏教の共生論						
論文指導	該当なし						
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数			
	京都文教入門	講義・演習・実習・実験	春・秋	約 450 名			
	授業の概要： 本科目は、新入生が京都文教大学での学習および生活を円滑にスタートさせるために、自己のアイデンティティ (帰属意識) を本学に確立ことを目的とする。						
	教育活動の振り返り 教育活動の成果： 講演会やプロジェクトPRフェスタなど、講義以外にも多彩な内容を提供することで、新入生が一步踏み出すための工夫をしたが、課外活動に加わる学生が増えている点で、一定の効果は上がっていると考えられる。 今後の課題： 多様な学生が学部単位あるいは両学部合同で行う授業なので、学生一人一人に対する細やかな目配せができない点が課題と考えられる。						
	・ 学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 (1) 本学で開催された第1回FD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える」に参加 (10月30日) (2) 同志社大学で開催された大学コンソーシアム京都第20回FDフォーラムに参加 (2月28日) (3) 同フォーラム第3分科会「学生FDと大学マネジメント」で報告発表 (3月1日) ・ 教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 特になし。						

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/4)

<p>H26年度 研究課題</p>	<p>1. ブッダ観の変遷 2. 「解釈」によって成り立つ仏教</p>
<p>研究活動の概要 (平成二十六年(2014)年度の)</p>	<p>現在、『仏滅後によみがえるブッダ：仏伝を再解釈する大乘経典』(仮)と題する著書を筑摩新書から出版する予定で原稿を準備し終えた。平成27年度に出版の予定である。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書) (論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術講演： 1. 「大乘経典と仏伝：法華経を中心に」立正大学法華文化研究所第2回研究例会(平成26年7月) エッセイ： 1. 「ブッダと法然：その比較から見えてくるもの」を『知恩』(総本山知恩院 信仰誌 月刊)に連載(平成26年4月号～現在に至る) (調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 京都文教大学学長、大学教学会議委員、大学運営会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員会委員、危機管理委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、宗教委員会委員長、入試委員会委員</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(自治体や企業における研修等の講師) 平成26年 7月 1. 第43回浄土宗布教師会近畿地区支部研修会、「慈悲の根拠：釈尊の慈悲と法然上人の慈悲」、於：ホテルポストンプラザ草津(滋賀県) 2. 大和布教師会講演「業をみすえて」、於：浄土宗奈良教区教務所 平成26年 8月 平成26年度宗立宗門校教職員研修会、「基礎仏教学」、於：清浄華院(京都市) 平成26年10月 1. 空外記念館別時念仏会、「いのちを考えなおす」、於：山本空外記念(島根県) 2. 第45回浄土宗寺庭婦人会中四国地区研修会、「幸せになる最も簡単な方法」、於：広島エアポートホテル 平成26年11月 寺庭夫人研修会、「あなたとわたしの関係 仏教は人間関係をどう考えたか?」、於：一心寺(大阪府) (その他) ・ 日本印度学仏教学会理事「平22.9より」 ・ 日本印度学仏教学会評議員「平22.9より」</p>
<p>主な研究成果等 (平成二十一年～二十五年(2009～2013)年度の)</p>	<p>(著書) 1. 『ブッダの大いなる物語：梵文『マハーヴァストゥ』全訳』(全2巻) 単著、平成22年7月、大蔵出版(上巻：535p, 下巻：589p) 2. 「仏伝から見える世界」、共著、平成22年7月、佼正出版社、新アジア仏教史03：インド仏典からみた仏教世界(pp.14-61) 3. 「変容するブッダ：仏伝のアクチュアリティとリアリティ」、単著、平成23年12月、春秋社、『大乘仏教の誕生(シリーズ大乘仏教2)』(pp.109-137) 4. 『法華経成立の新解釈 仏伝として法華経を読み解く』、単著、平成24年10月、大蔵出版、352p</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/4)

(著書 つづき)

5. 第1章第2節「大乘仏教における業思想」・第1章第3節「仏教における差別と平等」、共著、平成25年9月、浄土宗出版、『業を見すえて 浄土宗人権教育シリーズ(5)』(pp.50-76)
6. "The School Affiliation of the Ekottarika-āgama", *Research on the Ekottarika-āgama* (Taishō 125), 2013、共著、平成25年、Taiwan: Dharma Drum Publishing Corporation, pp.71-105

(論文)

1. Text Critical Remarks on the Divyāvādāna (2)、単著、平成22年3月、創価大学・国際仏教学高等研究所・年報第13号 (pp.35-74)
2. 「インド仏教における差別と平等の問題 業報輪廻説の功罪」、単著、平成22年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第2集 (pp.65-74)
3. 「法華経の成立に関する新たな視点：その筋書・配役・情報源は?」、単著、平成22年12月、日本印度学仏教学会 印度学仏教学研究第59巻第1号 (pp.143-151)
4. "Review Article: The Divyāvādāna in English."、単著、平成23年3月、Indo-Iranian Journal 54 (pp.231-270)
5. 「『仏説心明経』の成立：説一切有部の大乘経典という可能性」、単著、平成23年12月、日本印度学仏教学会 印度学仏教学研究第60巻第1号 (pp.131-139)
6. 「法華経「化城喩品」の成立：城喩経類が関与した可能性を探る」、単著、平成24年3月、国際仏教徒協会 仏教研究第40号 (pp.221-236)
7. 「大乘仏教における 念仏 の再解釈：念の対象となる「仏」の内容の変遷から見て」、単著、平成25年2月、山喜房仏書林、『仏法僧論集：福原隆善先生古稀記念論集(第1巻)』(pp.23-42)
8. 「法華経所収のジャータカの帰属部派」、単著、平成25年3月、日本印度学仏教学会 印度学仏教学研究第61巻第2号 (pp.199-206)
9. 「梵文根本有部律破僧事「給孤独長者入信説話」和訳」、単著、平成26年3月、佛教大学仏教学会紀要第19号 (pp.33-53)

(学会報告、学会活動)

1. 「法華経を“仏伝”から読み解くという試論」、単独、平成22年9月、日本印度学仏教学会第61回学術大会、立正大学
2. "Did Yaśodharā become a Nun?: On the Indebtedness of the Lotus Sūtra to the Mūlasarvāstivāda-vinaya" (Buddhist Nuns in India, sponsored by the University Toronto/McMaster University Yehan Numata Buddhist Studies Program, April 15-17, 2011, University of Toronto)
3. 「『仏説心明経』の成立：「説一切有部の大乘経典」という可能性」、単独、平成23年9月、日本印度学仏教学会第62回学術大会、龍谷大学
4. 「法華経所収のジャータカの帰属部派」、単独、平成24年6月、本印度学仏教学会第63回学術大会、鶴見大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

書評：

1. 中村史著『三宝絵本生譚の原型と展開』、単著、平成21年12月、論究日本文學第91号 (pp.57-60)

(調査活動)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

(学内活動)

- 平成10年 4月 宗教委員会委員長「現在に至る」
 平成17年 4月 大学教学会議委員「現在に至る」
 大学運営会議委員「現在に至る」
 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」
 平成20年 4月 共通教育担当部長「平24.3まで」

平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の主な研究成果等

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/4)

<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(学内活動 つづき)</p> <p>平成21年 4月 自己点検・評価 管理運営専門委員会委員「平24.3まで」 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平24.3まで」 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平24.3まで」 FD委員会委員「平24.3まで」 教務委員会委員「平24.3まで」</p> <p>平成23年 4月 京都文教大学副学長「平26.3まで」 広報委員会委員「平26.3まで」 危機管理委員会委員「現在に至る」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「現在に至る」 就業力育成支援委員会委員(委員長)「平25.3まで」 高大連携委員会委員「平24.3まで」</p> <p>平成24年 4月 地域連携委員会委員「平26.3まで」</p> <p>平成25年 4月 産学協働教育推進委員会委員「平26.3まで」</p>
<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動</p>	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成21年度 1. 夏安居講話「仏教の業思想」(講義) 於: 浄土宗総本山知恩院 2. 平成21年度浄土宗立宗門学校教職員研修会「浄土宗について」(講義) 於: 久留米・善導寺 3. 花園会夏期講座「インド仏教の根本思想: 縁起 智慧から慈悲へ」(講義) 於: 花園大学 4. 布教師養成講座中級中期「縁起と空」(講義) 於: 金戒光明寺 5. 講演「親子の関係を考え直す 親と子はどちらが先に生まれるのか」 於: 西小倉小学校</p> <p>平成22年 6月 朝日カルチャーセンター梅田教室講師「般若心経の世界」担当「平23.3まで」</p> <p>平成23年 2月 平成22年度浄土宗教師養成道場講師「釈尊の生涯と思想」担当 宗祖八百年大遠忌記念文化講座、「釈尊から現代人へのメッセージ 釈尊誕生の意義を、今、あらためて考える」(講演) 於: 和順会館大広間(京都市)</p> <p>平成24年 2月 平成23年度草津仏教講演会、「いのちを考えなおす: あなたのいのちは誰のものですか?」 於: 草津市立会館サンサンホール(滋賀県)</p> <p>平成25年度 1. 浄土宗第416回教化高等講習会講師、於: 浜田ワシントンホテルプラザ(島根県) 2. 平成25年度浄土宗立宗門校教職員研修会講師、於: 清浄華院(京都市) 3. 第275回浄土宗保育協会近畿地区研修会講師、於: ピアザ淡海(滋賀県)</p> <p>(その他)</p> <p>平成22年 9月 日本印度学仏教学会理事「現在に至る」 日本印度学仏教学会評議員「現在に至る」</p>